

# 市民ネットワーク

千葉市議会 令和3年第4回定例会 (11月26日～12月15日)

## いわさき明子と山田京子の 議会報告



いわさき明子 山田京子

### 新型コロナウイルス感染症対策も通学路の安全策も市議会で決定

今回の議会では、新型コロナワクチンの3回目接種実施体制の整備、小学校の通学路安全対策として路肩のカラー化や防護柵等の設置をすること、子育て世帯の生活を支援するため、子ども1人あたり10万円の臨時特別給付金を支給することなど、

暮らしに身近な事業が決まりました。

市民ネットワークの議員は担当する常任委員会での審議の他、いわさき明子は一般質問、山田京子は議案質疑・討論を本会議場で行いました。

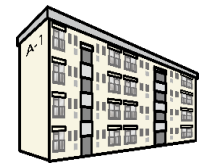
#### いわさき明子の一般質問から

##### 一人ひとりに合わせた不登校対策を

今、小学生を中心に不登校が増えています。その原因は一人ひとり違うため、きめ細やかな対応が必要になります。勉強が分からない子どもへ丁寧に対応すること、学校とコミュニケーションがとれていない家庭に対しては、スクールソーシャルワーカー等と繋がりを作れるよう要望しました。さらに、不登校が続くことで不安を抱えている保護者のため、茶話会を公民館で開くこと。生徒が学校に合わせるのではなく、学校が生徒に合わせる形の「不登校特例校」開設を検討することを強く求めました。



##### 分譲マンションコミュニティを元気に



市内には約10万7,000戸の分譲マンションがあります。そこに住む人(区分所有者)が建物の長寿命化や地域のコミュニティ形成に無関心な場合、何十年か後には、まちなかに巨大な廃墟ができてしまいかねません。「計画的な建物の修繕が必要な理由」、「住民同士の交流の具体例」等の情報を区分所有者にも届けるなど、分譲マンションコミュニティを活性化するため、市も積極的に関与するよう要望しました。

##### 生物多様性は市と市民の協働で守って

食料や木材の供給はもちろん、水や空気の浄化など、人間の生活の大部分は「生物多様性」が無くては成り立ちません。自治体の役割は、こうした生物多様性の価値と保全の意義を市民に理解し



▲坂月川とビオトープ

てもらおう努力をしながら、計画的に保全をすすめる事です。また現在、実際に地域で保全を担っているのはボランティア団体です。こうした団体の活動を市がわかりやすく「見える化」し、担い手を増やしていくよう求めました。

#### 山田京子の討論から

##### 市民による市民のための市民会館を目指して

2027年に市民会館が新しくなります。JR千葉駅隣に新築されるJRのビル(右図赤線囲み内)に入ることが決まりました。大ホールは、1,500席程度、小ホールは300席程度を考えているとのこと。



2022年度には基本設計が行われますが、千葉市の芸術文化に長く携わってきた市民団体との意見交換は未だ行われていません。職員だけで考えるのではなく、関心のある市民や団体と一緒に、市民による市民のための会館を作っていってほしいと要望しました。

また、会議室を最小限にする方針と聞き、駅近くの会議室はニーズが高いので、ぜひ新市民会館にも、これまでのようにつくってほしいと求めました。

##### 平和公園に合葬式樹木葬墓地ができる

これまで、一般的な石材墓地や芝生墓地だけだった平和公園に、2023年度から合葬式樹木葬墓地が30,400体分整備されます。お墓の継承者が要らない合葬式の墓は人気があります。

しかし、世間の求める墓地の形態は今後も変化していくと思いますし、車を使えない高齢者にはアクセスしにくい場所です。桜が綺麗なことのほかにも平和公園ならではの、「売り」も考えて、今後の整備にあたってほしいと要望しました。



▲今は人気の平和公園芝生墓地

##### 区民自慢の里山となるために

ピンクの芝桜で有名な富田都市農業交流センター(愛称:富田さとにわ耕園)の指定管理者の再指定が議会で決まりました。

指定管理団体の主な構成メンバーは地元農業者ですが、高齢化も進んでいます。インターネットを使った広報戦略、若い世代向けの企画やお土産、冬の企画など、新しい発想も必要です。外部の若い人材も登用して、訪れた人が「よかったー!」と思って帰れる施設になるように、案内表示の充実や、研修室の活用なども要望しました。



▲お土産が品切れにならないように工夫を!

#### 若葉区の議員 定数が8↓7人に

先の国勢調査の結果をうけて、人口が減少している若葉区の議員定数が次回の選挙から7人に減ります(市全体で50人は変わらず)。

市民ネットワークはこれまで、自ら声をあげることができない人や声の小さい人の意見でも、きちんと反映される市議会になるよう活動してきました。議員が減っても地域の皆さまの声が議会に届くよう、役割を果たしていきます。